

第21回汚職防止刑事司法支援研修

「汚職撲滅のための効果的な刑事司法の実務、国際協力及び市民社会との連携」

1 日程及び参加者

- 平成30年10月11日（木）から同年11月16日（金）まで
- 海外参加者26か国28名
- 国内参加者7名

2 研修概要

汚職は、社会の安定と安全に深刻な脅威をもたらし、法の支配を危うくする。汚職のまん延は、公共サービスのレベルを低下させるとともに、外国からの投資や援助をちゅうちょさせる結果、持続可能な発展と経済成長を妨げる。グローバル化の進んだ現代社会においては、国際商取引に関連した汚職やその犯罪収益など、国をまたいだ問題が絡む汚職も珍しくない。また、犯罪組織やテロリストが、その活動や利益保持のために、暴力的手段に訴えるばかりでなく、しばしば汚職をその手段として用いることも指摘されており、汚職は、国際組織犯罪及びテロリズムに対する国際社会の取組にとっても大きな障害となる。

1990年代半ば以降、汚職対策に関する多国間条約が複数採択されるに至った。その中で最も重要なものは、2003年10月31日、国連総会で採択された「腐敗の防止に関する国際連合条約（以下「UNCAC」という。）」である。さらに、2015年の国連総会で採択された持続可能な開発のための2030アジェンダは、あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させることをターゲットにしており、汚職対策は国際社会の重大な関心事項となっている。

本研修では、各国の高い関心に鑑みて、UNCACが扱う分野のうち、①汚職に対する効果的な捜査、訴追及び裁判、②汚職捜査及び訴追のための関係機関の連携、③汚職犯罪収益の凍結、押収及び没収、④汚職と戦うための国際協力、⑤市民社会及び民間セクターと連携した汚職防止措置を検討の対象とする。

3 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う。（敬称略）

【客員専門家】

- アフマド・クサイリ・ビン・ヤハヤ マレーシア反汚職委員会インテリジェンス部門ディレクター
- ポスチャン・ラメシッチ ユーロジャスト・スロベニア代表補佐、経済犯罪対策チーム副長
- コリンナ・ウォング 香港反汚職独立委員会コミュニティ・リレーションズ部門アシスタントディレクター
- ブレンダ・ソー 香港反汚職独立委員会コミュニティ・リレーションズ部門リサーチオフィサー

【外部講師】

- 森本 宏 東京地方検察庁特別捜査部長 検事
- 川手 研典 警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課
犯罪収益移転防止対策室 課長補佐
- 松居 新 公正取引委員会事務総局審査局 特別審査調整官
- 大場 恒雄 一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
事務局長
- 和田あゆみ 株式会社東芝 法務部長
- 一色 由香 株式会社良品計画 法務部法務課長

以 上